2023 年３月６日

「日本整形外科学会症例レジストリー(JOANR)構築に関する研究」について

当科では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。
本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で審査され病院長の承認を受けています。

＜研究の背景・意義＞
公益社団法人日本整形外科学会が対象としている運動器疾患（加齢性疾患、外傷、先天性疾患、感染、腫瘍など）は小児から高齢者まで幅広い国民が罹患し、国民の健康寿命を損なう主因の一つです。特に加齢により移動能力が低下し要介護のリスクがあるロコモティブシンドロームは推定患者数4700万人とされています。本領域での手術の件数は年間120万件を超えており、社会の高齢化の影響を受けて年々増加の一途ですが、全国規模の包括的なレジストリーが存在しないため全容が不明のままです。そのため本研究が計画され当院も参加してます。

＜研究の目的＞
本研究の目的は、運動器疾患の手術に関する大規模データベースを構築することです。

＜研究責任者・研究組織＞
公益社団法人　日本整形外科学会　理事　種市　洋(症例レジストリー委員会)

＜対象となる患者さん＞
当院整形外科で 2020 年４月１日～2030 年３月 31 日の間に、人工関節手術、関節鏡下手術、背椎手術、骨折治療の手術などの運動器の手術を受けられた全患者さん

＜研究期間＞2030 年３月 31 日までを予定しています。

＜研究の方法・使用する項目など＞
年齢や性別、疾患情報、手術情報、手術・麻酔時間、手術日、術者情報、看護師数、技師数、治療成績、使用した器材・インプラントなどの情報を診療録より調べます。

＜個人情報の取り扱い＞
研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。また特定の個人を識別することができないよう、研究対象者に番号を付与したうえで、対応表は研究責任者が鍵の掛るキャビネットに保管します（連結可能匿名化)。

2023 年３月６日

＜研究成果の発表について＞
研究結果はまとめて、学会や出版物として公表することがありますが、その場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。

＜データ提供による利益と不利益＞
研究に参加されなくても今後の診療を受けるうえで不利益はありません。この研究で対象となる手術は適応が承認され保険適応された日常保険診療として行われる治療法です。研究に参加された場合、患者さんに対して利益・不利益のどちらも発生することはありません。

＜データ利用の拒否と中止＞
診療情報などを研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

＜本研究の資金源（利益相反）＞
ありません。

＜問い合わせ先＞
本研究に関するご質問等がありましたら担当医師まで問い合わせ下さい。

問い合わせ先
京都桂病院
京都市西京区山田平尾町 17 番地
TEL：075-391-5811(代表)
責任医師：整形外科　部長　新井　隆三